

第30期町田市文化財保護審議会第9回会議 会議録

- 1 開催日時 2021年5月21日（金）
午前10時00分～11時30分
- 2 開催場所 （書面開催）
- 3 出席者 （書面開催）
- 4 報告事項
 - （1）「(通称) 鎌倉井戸」の種別変更及び名称変更について
 - （2）町田市立博物館からの資料移管について
 - （3）2021年度予算について
 - （4）高ヶ坂石器時代遺跡整備事業の進捗状況について
 - （5）資料の活用等について（報告）
 - （6）自由民権資料館動画配信について
 - （7）自由民権資料館第3回市民協働企画展「歴史を学び、考える～仲間とともに深め合う～」の開催について
 - （8）「町田市生涯学習推進計画 2019－2023」に基づく2020年度の事業実績について
 - （9）第30期町田市文化財保護審議会のまとめについて
 - （10）第31期町田市文化財保護審議会委員の委嘱について
- 5 その他
 - （1）次回の審議会（第31期第1回会議）について

<配布資料>

- 会議資料
- 1 報告事項
 - 2 「町田市生涯学習推進計画 2019-2023」に基づく2020年度事業実績報告シート（案）
 - 3 第30期町田市文化財保護審議会のまとめ
- 自由民権資料館 動画配信チラシ
○自由民権資料館 第3回市民協働企画展「歴史を学び、考える～仲間とともに深め合う～」チラシ

■ 前回議事録の確認

事前に送付した議事録を確認・承認していただき、確定とした。
(ナラ枯れの件については、今後経過を注視していく。)

■ 報告事項

(1) 「(通称) 鎌倉井戸」の種別変更及び名称変更について

文化財保護審議会からの答申(2021年2月15日)を受け、教育委員会(2021年3月8日)で審議した結果、答申の通り承認されました。2021年3月15日付けで「町田市指定旧跡 伝鎌倉井戸(鎌倉古道推定地)」として告示されました。

● 委員からの質疑・意見

- 今後、旧跡の指定が続くことを希望します。
- いろいろ課題はあるでしょうが、新事実の発見があった場合は、その成果を生かして柔軟に対応して行けば良いと考えます。

→ 事務局 旧跡の指定については、今後も検討していく予定です。

(2) 町田市立博物館からの資料移管について

2021年3月末をもって、博物館から教育委員会(生涯学習総務課)へ、考古資料4,005件、歴史資料21件、民俗資料4,007件の移管が完了しました。今後は、教育委員会で考古・歴史・民俗資料の一体的な活用を図っていきます。

● 委員からの質疑・意見

- 点数が確定しているようですが、目録は整備されているのでしょうか。

→ 事務局 目録は整備されています。

- 市立博物館が実質的に廃止されてしまったという事実は重く受け止めています。
- 各分野における新たな資料収集に関しては、前回の審議会議事録にもあるように、保管場所の観点のみならず、資料が持つ意義に常に配慮し、硬直した対応にならないような姿勢と体制づくりをお願いしたいと考えます。
- 宝の持ち腐れとならないよう、今後、考古資料や民俗資料が安全に保管され、市民に常設的に公開される施設が、1日も早く整備されることを望みます。

→事務局 今後は、考古・歴史・民俗資料の一体的な保管・活用を図っていきます。

(3) 2021 年度予算について

コロナ禍により、2021 年度の市税収入は大幅な減少が見込まれています。そのため、2021 年度の予算編成は大変厳しいものとなりましたが、事業を精査し、必要な経費について予算措置をしました。

【文化財保護費】 事業費：25,544 千円（2020 年度：56,428 千円 ※対 2021 年度予算 30,884 千円減額の大きな一因は③です。）

①「町田デジタルミュージアム」の構築

2021 年度は、民俗資料の撮影・デジタル化と年表や図表の作成を含む全体構成の編集を行い、2022 年度から全面公開を予定しています。

②町田市固有の文化財の保護・維持・管理・公開

市有文化財（遺跡、古民家等）の適切な管理・公開を行います。民有文化財においては、所有者が適切な保存・活用が行えるよう修繕費等に対して補助金を交付します。また、市内の開発予定地において、埋蔵文化財の保護及び記録保存を目的とした試掘調査・確認調査を実施します。

③高ヶ坂石器時代遺跡整備事業については、市の財政状況を鑑み 2021 年度は整備を中断します。事業の進捗状況については、次項で説明します。

【考古資料室費】 事業費：2,501 千円（2020 年度：2,516 千円）

考古資料室の管理・運営費です。アウトリーチ展示を含む、収蔵資料を活用したより魅力的な企画展示を実施するとともに、適切な施設管理を行います。

【自由民権資料館費】 事業費：11,665 千円（2020 年度：11,326 千円）

・民俗資料移管に伴う活用

博物館からの民俗資料移管に伴い、それに伴う事業費を増額しました。

資料の適切な管理を行い、企画展示やアウトリーチ展示、出張講座など考古・歴史資料とともに、一体的な活用に向けた事業を進めます。

●委員からの質疑・意見

○今後しばらくは予算そのものの縮減が大きなプレッシャーとなってくるでしょうが、こうした緊急事態が終息した折に文化的な事柄の多くが後退または廃止されていたのでは、人間生活にとって大損失ですので、是非頑張って予算確保に臨んでください。

○自由民権資料館に移管された民俗資料の活用に対して、僅かですが予算増額となっ

た点については評価したいと考えます。是非とも市民がより一層の興味関心を寄せられるような活用をお願いしたいと思います。

○財政難となっていることは理解しますが、整備の遅れによって、遺跡の劣化や破損が進むことのないように配慮をお願いいたします。

→事務局 ご意見を踏まえて、今後の予算編成に取り組んでいきます。

(4) 高ヶ坂石器時代遺跡整備事業の進捗状況について

八幡平遺跡については、2020年度に階段、スロープ設置等の公園整備工事を実施し、2021年4月から一般公開を開始しました。植栽等の整備が残っていますが、2022年度以降に整備を再開予定です。

牢場遺跡については、2020年度は、2018年度取得した土地の設計を行いました。整備工事については、2022年度以降に実施予定です。

●委員からの質疑・意見

○整備の意義（ルーチンワークでは予算は得られない）、活用の見込みをいかに説明できるか。中長期展望と共に夢を描けると良いですね。

○コロナ禍が急速に収束できるか否かは難しい状況だと思いますので、2022年度からの再開予定が困難な場合の対応についても現時点から想定しておくべきだと思います。

○財政難となっていることは理解しますが、整備の遅れによって、遺跡の劣化や破損が進むことのないように配慮をお願いいたします。

→事務局 ご意見を踏まえて、今後の整備に取り組んでいきます。

(5) 資料の活用等について（報告）

町田の歴史に関する出前講座やフィールドワーク、考古資料のアウトリーチ展示を実施したので報告します。

【歴史資料】

内容	開催日	場所	人数
第3回 出前講座 in 鶴川 「小野路の生糸販売組合碓氷社甲寅組」	2021年3月13日	鶴川市民センター ホール	22名
第4回 出前講座 in 忠生 「幕末の日記『晴雨日記』を読む」	2021年3月27日	忠生市民センター ホール	37名

フィールドワーク「町田の歴史を歩く 2021」 森野コース	2021年3月14日	JR町田駅スタート	20名
フィールドワーク「町田の歴史を歩く 2021」 原町田コース	2021年3月28日	JR町田駅スタート	16名

なお、3/22 金森コースについては荒天のため中止しました。

【考古資料】

内容	開催日	場所	人数
考古資料の展示 ※期間中、2回展示内容変更 ①深鉢型土器(縄文時代中期、相原坂下遺跡出土)～12/3 ②透かし彫り土製耳飾り一式レプリカ(市指定有形文化財、縄文時代晩期、なすな原遺跡出土)～3/31	2020年9月23日～ 2021年3月31日	ぽっぽ町田内・町田 ツーリストギャラリー (観光案内所)	10,562名
考古資料の展示 ※期間中、3回展示内容変更予定 ①隆起線文土器レプリカ(市指定有形文化財、縄文時代草創期、なすな原遺跡出土)	2021年4月1日～ 2022年3月31日	ぽっぽ町田内・町田 ツーリストギャラリー (観光案内所)	-

●委員からの質疑・意見

○今後も着実に進めていただければ幸いです。

→事務局 2021年度は博物館から移管された民俗資料も含めて活用していきます。

(6) 自由民権資料館 動画配信について (別添チラシ)

【配信開始日】 2021年3月27日(土)から

【配信内容】 「町田ぼたん園の歴史をひもといてみよう」

昨年度から配信している動画の4作目となる「町田ぼたん園の歴史をひもといてみよう」は、ぼたん園をスタートし、自由民権の碑、石坂昌孝の墓と「民権の森」などを紹介しています。視聴は、町田市ホームページまたは自由民権資料館公式Twitterからアクセスしていただくか、YouTubeからも検索できます。

●委員からの質疑・意見

○良いことだと思います。広報のあり方もカギになるのでしょうかね。

→事務局 効果的な広報手段について、引き続き検討していきます。

- (7) 自由民権資料館 第3回市民協働企画展「歴史を学び、考える～仲間とともに深め合う～」の開催について（別添チラシ ※会期延長前のもの）

【開催期間】 2021年4月24日（土）～6月13日（日）

【会場】 自由民権資料館企画展示室

自由民権資料館で実施している講座「町田自由民権カレッジ」は今年度で13年目を迎えました。今回はカレッジで学んだ3期生が自身の卒業論文を展示という手法で紹介します。またカレッジの講座内容や、卒業生が組織する「まちだ自由民権カレッジ同窓会」とその分科会活動を紹介します。

なお、緊急事態宣言に伴う休館のため、会期を6/13日までに延長し開催します。

●委員からの質疑・意見

○良いことだと思いますし、今後も着実に進めていただければ幸いです。広報のあり方もカギになるのでしょうかね。

○緊急事態宣言に伴い、公開期間が十分に確保できなかったことは残念ですが、オンラインなど別の方法による情報発信についても検討されることを希望します。

→事務局 会期を2週間延長することで対応しました。オンラインも検討しましたが、画像の利用制限などもあり、個々人の展示紹介に差が出てしまうなどの問題が解決できず今回は見送らざるを得ませんでした。今後は発信方法等について改めて検討していきます。

- (8) 「町田市生涯学習推進計画2019-2023」に基づく2020年度の事業実績について

「町田市生涯学習推進計画2019-2023」に基づく2020年度事業実績報告シート（案）について報告します。

■取組2-2 歴史・文化資源等を活用した出張事業の推進【◇】 文化財係・自由民権資料館・文学館

事業概要	町田市の歴史や文化についてより多くふれてもらえるよう、学校や子どもセンターでの講座や市民センターなどでの展示の実施、他部署が主催するイベントへの参加など、歴史・文化に関する資源や情報を活用した学習事業を様々な地域で展開します。				
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習総務課では、市庁舎イベントスタジオでの東京文化財ウィークに合わせた企画展示や青少年施設ひなた村などでの文化財の展示を行うほか、自治体主催の歴史講座や大学の講義、中学校の歴史の授業などでの出張講義を行っています。 文学館では、小学校での出張講座として、町田ゆかりの俳人の紹介と俳句クイズを行う「俳句であそぼう！」や、市庁舎イベントスタジオでの出張展示を実施しています。 				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	出張事業（展示・イベント・講座等）の実施件数		28件	40件	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	事業内容の検証		検証を踏まえた新たな事業の実施		
	出張事業の実施及び周知、関係機関への働きかけ				
年度目標	30件	32件	34件	37件	40件

<2020年度の事業実績>

実績値	22件
取組状況	<p>下記の出張事業を実施しました。※【 】内は実施場所</p> <ul style="list-style-type: none"> 考古資料の「貸出展示」【商業施設（ぼっほ町田）、高齢者施設（ふれあい桜館）】 2件 地域の歴史をその地域に向いて解説する「出前講座」【市民センター】 4件 地域の史跡などを歩いてめぐる「フィールドワーク」【森野地区、原町田地区】 2件 ※企画3件のうち1件は雨天中止。 地域の遺跡や歴史に関する「出張講座（講師派遣）」【中学校、生涯学習センター等】 13件 ショートショート作家を講師とした「ショートショートの書き方講座」【町田市立真光寺中学校3年生】 1件 <p>※新型コロナウイルス感染症の影響で中止…3件（考古資料の展示【市役所イベントスタジオ】、歴史資料の展示【市役所イベントスタジオ】、社会人せんせい講座【成瀬台中学校】）</p> <p>新型コロナウイルスの影響で中止等があり実施件数の合計は22件となりましたが、新たな試み（考古資料の商業施設・高齢者施設での展示、市民センターでの「出前講座」実施、中学校生徒への「ショートショートの書き方講座」）を実施することができました。</p> <p>また、考古資料の商業施設での展示は、場所が中心市街地だったということもあり多くの方に見てもらうことができました。</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> 貸出展示や出張講座で資料を持ち込む際には、資料の破損・盗難を防ぐための工夫が必要です。 博物館から移管された民俗資料を活用した事業が求められています。 YouTubeやChromebook等デジタルデバイスを利用し、学校の授業等で活用できるコンテンツの提供が必要です。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 展示ケースの設置、施錠できる展示場所を確保するなど資料の破損・盗難防止に留意しながら、より集客効果が高い施設において貸出展示、出張講義を実施できるよう進めていきます。 引き続き、市内各地域の歴史を出張して紹介することで、歴史に身近に触れることのできる機会を作ります。 民俗資料を活用した体験講座や出張授業に取り組みます。 2021年度から実施する「ことばらんどショートショートコンクール」と連動した試みとして、YouTube、Chromebookを利用し、学校の授業等で活用して貰うために「ショートショートの魅力」「ショートショートの書き方」の2本の動画を作成しました。この動画を町田市内の多くの学校で活用してもらえるよう働きかけを行います。 2020年度に続き、「ショートショートの書き方」講座を実施します。

■取組2-5 生涯学習施設の利用促進	文化財係・自由民権資料館・ 生涯学習センター・ 図書館・文学館
--------------------	---------------------------------------

事業概要	より多くの市民に生涯学習施設を知ってもらい、幅広い世代の利用につながるよう、リーフレットやホームページ、SNSを利用した情報発信のほか、各施設の相互PRをはじめ、市内外の各機関と連携したPR活動を進めます。				
これまでの取組	リーフレットやホームページ、SNSを利用した情報発信を行っています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①連携して行うPR活動件数		4件	10件	
	②SNS発信数		219回	800回	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	新たな連携先の検討・調整	新たな連携先とのPR活動の実施	検証	検証結果に基づくPR活動の見直しと実施	
	SNSを利用した情報発信				
年度目標（指標①）	5件	6件	7件	8件	10件
年度目標（指標②）	520回	610回	670回	720回	800回

<2020年度の事業実績>

実績値（指標①）	2件 （※文化財係と自由民権資料館の合計。生涯学習センター・図書館・文学館を除く）
取組状況（指標①）	・自由民権資料館の企画展「能ヶ谷のかたち」を、香山園開放時期に合わせ公園緑地課と連携するとともに、鶴川駅前図書館にて特集コーナーを設け、展示のPRを行いました。
実績値（指標②）	323回 （※文化財係と自由民権資料館の合計。生涯学習センター・図書館・文学館を除く）
取組状況（指標②）	・文化財関連施設の開館情報やイベントに関する情報などを中心に、ホームページを更新しました。更新回数は39回です。 ・自由民権資料館の開館情報や講座・講演会、展覧会等のイベントに関する情報など、Twitterによる情報発信を計284回行いました。
課題	・多くの方に来室していただくため、展示内容を定期的に見直し、新たな魅力を発信していく必要があります。 ・より多くのフォロワー及び「いいね」やリツイートで表現される反応を獲得できるよう、効果的なツイートの発信内容を検討する必要があります。
今後の取組の方向性	・町田市立博物館から移管された資料を加えて展示内容を刷新します。町田デジタルミュージアムと連携し、発信力を強化します。 ・生涯学習施設や各機関と連携して、イベントの特徴を活かしたPR活動を行います。 ・施設への興味を抱いていただけるような情報を発信していきます。

■取組3-2 町田の歴史情報の提供【◇】

文化財係・自由民権資料館

事業概要	市民の郷土への理解や愛着がさらに深まるよう、町田の歴史をわかりやすく伝える「町田デジタルミュージアム*」を構築し、公開します。				
これまでの取組	新規事業				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	町田デジタルミュージアム構築の進捗		未実施	システム構築完了、公開（2022年度）	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	歴史資料分構築・公開	考古資料分構築・公開	考古及び民俗資料分構築・公開	公開	
	歴史コンテンツ編集				
年度目標	歴史資料分公開	考古資料分公開	考古及び民俗資料分公開	公開	公開・検証

*町田デジタルミュージアム：町田市が所蔵する考古、歴史、民俗資料をデジタル化し、インターネット上で閲覧できるようにする仕組みのこと。

＜2020年度の事業実績＞

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 考古資料の抽出・撮影を完了し、デジタル化した資料の一部をホームページに公開しました。 撮影した資料について、目録情報の執筆を完了しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 2022年度からの全面公開に向けて、町田デジタルミュージアムを媒体として新たな考古・歴史・民俗資料の活用方法を検討する必要があります。また、掲載資料を見学できる環境を整える必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校の授業で町田デジタルミュージアムを活用するなどデジタル環境での利用促進を図ります。また、掲載資料を常設展示、予約制の閲覧などで見学できる環境を整えます。

■取組3-4 文化財の維持・保護・復旧の推進	文化財係
-------------------------------	------

事業概要	文化財を維持・保護し、下三輪玉田谷戸横穴墓群*、細野喜代四郎書斎*など、未整備、未公開の文化財の復旧・修復を推進します。				
これまでの取組	横穴墓、古民家など市内の指定文化財を復旧し、整備を進めています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	下三輪玉田谷戸横穴墓群復旧整備		現況測量完了	整備完了・公開	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	整備 事前準備	保存管理計画策定 遺構再確認 調査、保存 処理調査	実施設計	整備工事	公開
年度目標	史跡整備事前準備完了	保存管理計画策定開始 遺構再確認調査 保存処理調査	保存管理計画策定完了 実施設計	整備工事	整備完了・公開

*下三輪玉田谷戸横穴墓群：古墳時代後期（7世紀ごろ）の地域の有力者の墓。崖面に横穴を掘り遺体を安置した。都内で唯一、墓の内部に家形の彫刻が施されている。

*細野喜代四郎書斎：町田を代表する自由民権運動家・細野喜代四郎が書斎として愛用した土蔵。解体され、現在部材の状態で保管されている。

＜2020年度の事業実績＞

達成状況	E 目標を大きく下回った、実施できなかった
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な点検、清掃を行いました。 ・デジタルミュージアムのための撮影を実施し、2021年3月から公開しています。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・横穴墓内の天井や壁の崩落は進行しており、状況観察を継続的に行う必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・保存管理計画策定に向けて劣化を最小限に抑えるため、必要に応じて応急的な保存措置を講じます。

■取組3-5 文化財の公開・活用の充実	文化財係
----------------------------	------

事業概要	文化財を積極的に公開・活用し、市民が文化財に触れ合える機会をより多く提供します。				
これまでの取組	市内の指定文化財の公開・活用イベントを実施しています。				
活動指標	指標			現状値（2017年度）	目標値（2023年度）
	文化財の公開・活用イベント件数			4件	6件
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	イベント4件実施			イベント 5件実施	イベント 6件実施
	イベント内容検証		イベント内容 検証・ 新規イベント 検討	イベント内容 検証・ 新規イベント 検討	イベント内容 検証・ 新規イベント 検討
年度目標	4件	4件	4件	5件	6件

＜2020年度の事業実績＞

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下記5件のイベントにおいて、文化財を公開・活用しました。 ①生涯学習センターオンライン学習「町田の考古資料室って知っている?！」 ②まちだ市民大学HATS町田の歴史講座「目で確かめる町田の歴史 田端環状積石遺構ほか」 ③本町田遺跡公園見学会 ④東京文化財ウィーク2020企画事業「異形台付土器 特別公開」 ⑤オンライン授業「ICTを活用して町田の歴史を知ろう！」
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化財を公開・活用するには、破損が生じないよう対策が必要です。 ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の方策をとりながら事業を行う必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化財の破損防止、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにもデジタル技術を活用した効果的な公開・活用のあり方を検討、実施していきます。

事業概要	自由民権運動と町田の歴史情報をさらに発信できるよう、これまで収集・整理した市域の歴史資料を基にした企画展や、収蔵資料に加え関連資料を市内外の施設や個人から借出し展示する特別展を実施します。				
これまでの取組	企画展・特別展を年3回実施しています。 また、来館者アンケートにより展示等、資料館の満足度について調査を実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	資料館への満足度 （来館者アンケート）		77%	85%	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	企画展・特別展 2回実施	企画展・特別展 3回実施	企画展・特別展 3回実施	企画展・特別展 3回実施	企画展・特別展 3回実施
	展示・展覧会の内容の検証・改善				
	来館者アンケートによる調査・検証・改善				
年度目標	80%	82%	83%	84%	85%

<2020年度の事業実績>

達成状況	D 目標に達しなかった
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により特別展の内容を変更し、館収蔵史料を展示した「能ヶ谷のかたち」と、「町田の民権家たち」の企画展を計2回実施しました。 ・来館者に対しアンケートを実施しました。常設展・企画展それぞれに関して、「興味深かった」または「興味を持てた」と回答した方の割合は81%でした。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、他機関からの史料借用に制限があるため、新たな生活様式を考慮しながら、展示内容を検討していく必要があります。 ・来館者の満足度を上げることができるよう、アンケートの結果を分析するとともに、開催する展示の内容に合わせて、アンケートの内容を見直す必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵史料を町田デジタルミュージアムで公開します。また展示史料をSNSやホームページで公開するなど、新型コロナウイルス感染症対策にあわせた史料の公開方法を検討します。 ・市民のニーズに応えられるよう、開催する展示に合わせたアンケートを実施します。

事業概要	より深く歴史について学びたいという市民のニーズに応えられるよう、古文書講座や町田自由民権カレッジを実施するほか、特別展・企画展に関連した講演会や講師を招いた講座・講演会等を実施します。				
これまでの取組	古文書講座、町田自由民権カレッジのほか特別講座や、特別展に関連した講演会を実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	講座・講演会等の実施回数		60回	70回	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	講座・講演会 40回実施	講座・講演会60回実施		講座・講演会70回実施	
	講座・講演会の内容の検証・改善				
年度目標	40回 ※改修工事の為	60回	60回	70回	70回

<2020年度の事業実績>

達成状況	D 目標に達しなかった
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策のため、町田自由民権カレッジ・古文書講座・夏季特別講座・特別展記念講演会を中止しました。代替として出前講座4回、動画配信4件の計8回を行いましたが発信する回数としては大幅に減少しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症が終息するまで、自由民権資料館の閲覧室を使用した座学の講座開催は難しいと判断されるため、代替の発信による生涯学習機会の提供方法を構築する必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 市内施設を会場にした出前講座を継続して実施します。また、オンラインでの講座の実施を検討します。

■取組4-2 協働による研究・発表の推進【◇】	自由民権資料館・ 文学館
-------------------------	-----------------

事業概要	市民の学習・研究意欲が高まり、学んだ成果を地域に還元してもらうことができるよう、市民の学習・研究活動の支援を行うとともに、協働して研究成果物の刊行や企画展・イベント等を実施します。				
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> 自由民権資料館では、古文書講座や自由民権力レッシなどの修了生が組織する歴史研究グループの研究活動を支援しています。また、資料館の収蔵する史料の整理の一部を学生ボランティアの協力により行っています。 文学館では、2年を任期として市民がテーマを設定して研究を進める「市民研究員制度」を実施しています。また、市民研究員との協働により定期的に研究成果物を刊行し、研究発表の支援を行っています。 				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①研究成果物の刊行に向けた事業数		6事業	8事業	
	②研究発表会等の実施回数		未実施	毎年度実施	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	研究支援及び成果物の刊行				
	企画展・研究発表会検討		企画展・研究発表会実施		
年度目標 (指標①)	6事業	7事業	7事業	8事業	8事業
年度目標 (指標②)	検討	実施	実施	実施	実施

＜2020年度の事業実績＞

実績値 (指標①)	5事業
取組状況 (指標①)	<ul style="list-style-type: none"> 史料集や目録の刊行に向けての解読作業4件、編集作業1件の5事業について、関係団体が定期的に研究会を開催し活動できるよう支援しました。解読作業のうち1件については、村野日誌研究会の協力により、「村野日誌1」を刊行することができました。学生のボランティアは新型コロナの影響により活動ができませんでした。
実績値 (指標②)	0事業
取組状況 (指標②)	<ul style="list-style-type: none"> 市民協働企画展にて、「鶴川青年団文書」及び「天野政立文書」解読作業の活動について発表予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2021年度に開催を延期しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 自由民権資料館で学んだ市民が、その知識や経験を恒常的に継承されるような仕組みを構築する必要があります。 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、企画展や研究発表会については、手法の見直しが必要です。 若年層が参加しやすくするために、市民の自発的な文学活動を支援する仕組みである市民研究員制度について検討を行う必要があります。
今後の取組の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> 研究成果物の刊行に向け引き続き関係団体の学習・研究活動を支援するとともに、収蔵史料の整理やテーマの選定をおこないます。 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、企画展や研究発表会については新たな手法を検討します。 大学のゼミと連携して研究テーマと一緒に取り組むなど、新たな市民研究員制度の検討を行います。

■取組5-3 文化財の保存と活用環境の整備【◇】	文化財係
--------------------------	------

事業概要	発掘調査や環境整備によって、牢場遺跡・稻荷山遺跡・八幡平遺跡からなる高ヶ坂石器時代遺跡を維持保存できるようにし、文化財の魅力をより広く伝えられるよう積極的に公開活用します。				
これまでの取組	遺跡整備工事、現場公開を各年度実施しました。 2016年度：稻荷山遺跡工事・公開、八幡平遺跡工事 2017年度：牢場遺跡工事・公開 2018年度：牢場遺跡史跡公園用地買収、牢場遺跡工事、八幡平遺跡工事				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	高ヶ坂石器時代遺跡整備進捗		整備着手	ガイダンス施設 実施設計・展示実施設計建設工事完了	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	八幡平遺跡整備工事	八幡平遺跡整備工事・公開、牢場遺跡買収地設計←ガイダンス施設基本計画	牢場遺跡買収地整備工事、ガイダンス施設基本計画基本設計・展示基本設計	ガイダンス施設基本設計実施設計・展示基本設計実施設計	ガイダンス施設実施設計建設工事・展示実施設計
年度目標	八幡平遺跡整備工事	基本計画 牢場遺跡設計 八幡平遺跡公開	基本設計 牢場遺跡整備工事 基本計画	実施設計 基本設計	建設工事 実施設計

<2020年度の事業実績>

達成状況	C おおむね目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・八幡平遺跡の公園整備工事（階段、スロープ、解説板、石柱移設等）を実施しました。 ・2018年度取得した牢場遺跡内の土地の設計を行いました。 ・整備工事の状況について、ホームページでの情報発信を行いました。 <p>※工程表の変更について…市の財政状況に鑑み、ガイダンス施設の整備時期を変更しました。</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・整備事業は、国や都の補助金採択や市の財政状況の影響を大きく受ける事業です。 ・文化財保護に対する市民の理解を得るため、積極的な情報発信により遺跡の認知度を高める必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年4月1日から八幡平遺跡を公開します。 ・八幡平遺跡の整備工事（植栽等）を実施します。 ・2018年度取得した牢場遺跡内の土地の整備工事を実施します。 ・「まちテレ」での放映、ホームページでの情報掲載、見学会の開催などを通じて、遺跡の魅力を発信します。

事業概要	所在調査・探索により発見された史料、寄贈・寄託等の申し出がある市域の各家等に残る史料を整理して、半永久的な学習・研究資源とするために保存環境を整えます。また、整理した史料は、利用者の希望に応え、展示や刊行物に還元できるよう目録を作成します。				
これまでの取組	市民ボランティアや大学等との協働により史料整理を行い、新たな史料の寄贈・寄託を受け入れながら仮目録の作成を進めています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①史料整理数（累計）		42,000点	67,000点	
	②目録作成点数		0件	3件目着手	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
年度目標（指標①）	47,000点	52,000点	57,000点	62,000点	67,000点
年度目標（指標②）	1件目 作成作業	1件目 作成完了	2件目 作成作業	2件目 作成完了	3件目 作成作業

<2020年度の事業実績>

達成状況（指標①）	C おおむね目標を達成した
取組状況（指標①）	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、市民ボランティアや大学等との協働での作業が出来ませんでした。計約14,000点の史料整理を完了しました。 「浪江虐関係史料」、「野津田町・石坂家文書」、「小野路町・細野家文書」、「小川・細野家文書」、「つくし野・山下家文書」等の整理作業を進めています。
達成状況（指標②）	C おおむね目標を達成した
取組状況（指標②）	<ul style="list-style-type: none"> 「家永三郎文庫」の目録を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により作業が遅れたため、作成・刊行が次年度初頭になる予定です。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアとの作業が制限されるため、新たな生活様式に添った活動方法を検討する必要があります。 より多くの史料整理を完了できるよう、計画的に整理作業を進める必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 2020年度中刊行予定の「家永三郎文庫」を早期に刊行します。 「常盤町・薄井家文書」及び「上小山田町・臼井家文書」の整理作業を進め、2021年度末に目録を刊行します。 計画的に整理作業を行い、収蔵史料の保管に努めるとともに、市民の利活用に供します。

「組 2 - 2 歴史・文化資源等を活用いた出張事業の推進」について

●委員からの質疑・意見

- よく活動されていると思います。ご苦労様でした。
- 市立博物館が閉館し、考古・民俗資料等の保管と公開が課題となっています。市民への資料公開は、必要かつ重要な事業ですが、公開のための資料移動は、回数を重ねれば重ねるほど破損・紛失等のリスクを伴います。安心かつ安全に資料の保管と公開ができる新博物館が、早期に建設されることを望みます。

→事務局 ご意見を参考にさせていただきます。

「取組 2 - 5 生涯学習施設の利用促進」について

●委員からの質疑・意見

- コロナの影響化では、数値だけをみて評価することができないと考えます。(変化した条件の中でどう対応したのかの検討が重要)
- 活動件数が右肩上がりに計画され、実行されていることは、歴史を学ぼうとする市民にとって良いことですが、そのために必要な人員や予算が十分に確保されることを期待します。

→事務局 ご意見を参考にさせていただきます。

「取組 3 - 2 町田の歴史情報の提供」について

●委員からの質疑・意見

- よく活動されていると思います。ご苦労様でした。
- コロナ禍の状況においてのみならず、今後のネット社会を想定したとき、デジタルアーカイブス、デジタルミュージアムの充実は重要な課題です。他の自治体の事例も十分に検証しつつ、単なるモノ情報の列挙にとどまらない形態での運用を期待します。博物館というハコが消滅した現在、デジタル環境のもとで何ができるのか、何をなさねばならないのか、しっかりと検討を進めることが肝要だと考えます。
- デジタルミュージアムで目にした資料の実物を見たいという要望は、今後、増すものと思われます。課題や今後の取り組みに記されているように、実物資料を目にすることのできる、リアルミュージアムの1日も早い整備が望まれます。

→事務局 急速にデジタル化が進む社会状況に合わせ、デジタルアーカイブの可能性について検討を進めます。また、デジタルミュージアムに掲載する資料は、可能な限り常設・アウトリーチ展示、予約制での閲覧など実物でご覧いただく環境を整えていきます。

「取組3-4 文化財の維持・保護・復旧の推進」について

●委員からの質疑・意見

○すでに復旧・修復された文化財の経年変化はあったでしょうか。今後、これを確認するという項目を事業に入れたらどうでしょうか。特に野外に存在する文化財は、定期的な点検が必要です。

→事務局 屋外にある文化財についてはすでに業務として巡回していますが、周期化して、点検項目を整えるなどより効率的に行っていきます。

○コロナの影響化では、数値だけをみて評価することができないと考えます。(変化した条件の中でどう対応したのかの検討が重要)

○下三輪玉田谷戸横穴墓の状態が心配です。どこまで調査ができており、保護の支障となっているのは崩落の危険性があるからでしょうか？

→事務局 下三輪玉田谷戸横穴墓群は、3Dパノラマで撮影するなど現状の記録化は行いました。市の財政上の優先順位から整備に着手できない状況ですが、保存科学の専門家に見ていただき、遮光板を設置するなど劣化防止に努めています。

「取組3-5 文化財の公開・活用の充実」について

●委員からの質疑・意見

○よく活動されていると思います。ご苦労様でした。

○取組3-2同様、今後の取り組みに期待します。

○コロナ禍ということも考慮し、こうした事業にこそ、デジタル技術を大いに活用すべきと考えます。

→事務局 ご意見を踏まえ、事業を進めていきます。

「取組 3－6 展示事業の充実」について

●委員からの質疑・意見

- コロナの影響化では、数値だけをみて評価することができないと考えます。(変化した条件の中でどう対応したのかの検討が重要)
- 一昨年の台風や昨年以降のコロナ流行など、地域が直面する、あるいは直面した重要な問題(時には歴史に残るような事件)について、展示を臨機応変におこなうことが大切では。また、資料収集をお願いします。
- コロナ禍により、資料館の活動が思うようにできない状況となっていて、デジタルやオンラインの活用も一方策となりますが、コロナ後を見据えた対市民活動の計画が練られることにも期待します。

→事務局 ご意見を参考に、社会状況を見定めながら今後の事業計画を検討していきます。

「取組 3－7 講座・講演会事業の充実」について

●委員からの質疑・意見

- コロナの影響化では、数値だけをみて評価することができないと考えます。(変化した条件の中でどう対応したのかの検討が重要)
- こうした状況下ですので、今後は Zoom 等を活用してのオンライン形式での講座・講演会を積極的に開催していただきたいと考えます。
- コロナ禍を経験して得た教育手法の一つに、オンライン講座があると思います。今後、実物をベースとしたリアル講座と併用した、新しい事業展開が期待されます。

→事務局 講座の受講者や当館利用者の需要なども意識しながら、オンライン講座を行える環境整備も含め、検討していきます。

「取組 4－2 協働による研究・発表の推進」について

●委員からの質疑・意見

- 課題の中に、「自由民権資料館で学んだ市民が、その知識や経験を恒常的に継承する仕組み」について、具体的な説明をお願いします。

→事務局 この課題は、2021年2月に策定しました「あり方見直し方針」をもとにしています。この方針に基づき、今後具体的にどのようなことが可能なのか検討していくことになるので、現段階では具体的イメージがあるわけではありませんが、民権カレッジの運営の方法などでより効率的・効果的な方法を検討していくことを土台にしつつ、卒業生による団体（同窓会）の方々と連携しながら構築していければと考えています。
これまでの実績をもとにいくつか例示すると、同窓会会員が報告者となるシンポジウム開催、史跡をめぐるフィールドワークでのガイドなどがあげられます。将来的には、学校教育や地域コミュニティにおける学びの場などとの関わりが構築できることを目指したいと考えています。

○協同研究の課題設定と、資料館が市民に提供する歴史情報の緊急性、必要性判断とをどのように関係づけているのかを知りたい。

→事務局 重要・貴重と判断した史料（群）の整理は、資料館の職員のみで行う場合もありますので、緊急性・必要性の高さがそのまま協働事業化するわけではありません。史料整理に関しては、優先順位の高い史料群のなかから所蔵者の意向を確認しながら選定し、史料解説については、重要視している史料のなかから各組織の能力と関心の所在を意識して選定し、お願いしています。

○文化財の保護・活用を最も深く理解し、協力していただける市民でありますので、運営は大変でしょうが、若い市民を含めて推進してください。

○コロナの影響化では、数値だけをみて評価することができないと考えます。（変化した条件の中でどう対応したのかの検討が重要。特にボランティアさんとの連携については、いろいろな所でも対応を見合わせている。）

○取組3-7同様、今後はオンライン形式の活用も視野に入れる必要があるものと考えます。

○コロナ禍により、活動が停滞してしまったことは残念ですが、市民と協働した研究活動等にもオンラインが活用できるよう、情報環境整備が望まれます。

→事務局 オンラインでの活動を行える環境整備も含め、検討していきます。

「取組5-3 文化財の保存と活用環境の整備」について

●委員からの質疑・意見

○よく活動されていると思います。ご苦労様でした。

「取組 5－4 歴史・文化資源の調査・研究・保存」について

●委員からの質疑・意見

- よく活動されていると思います。ご苦労様でした。ただ、コロナの影響化では、数値だけをみて評価することができないと考えます。(変化した条件の中でどう対応したのかの検討が重要)
- この部分は文書を中心とする歴史資料が主たる対象のようですが、民俗的な生活文化を記録した資料も少なくないはずです。そうした点についても配慮・検討を今後はしていただきたいと希望します。この点は、民俗資料の収集・保管の問題とも関連してくるものと思います。
- 史資料目録の作成と公開は、史資料の市民利用に直結するものとなります。諸資料の目録化が、1日も早く実現されることを期待します。

→事務局 資料の収集・整理・保管・目録化は資料館活動の基礎となる業務と考えております。民俗資料については、2020年度までは博物館管轄だったためにここでは対象としておりませんが、今後は収集方針に則り進めていきます。

(9) 第30期町田市文化財保護審議会のまとめについて

第30期町田市文化財保護審議会の活動内容のまとめについて報告します。

1 審議会委員

8名(再任)

2 会議開催回数

9回(2019年度4回、2020年度4回、2021年度1回)

3 会議成果

諮問・答申 ・旧跡の指定・登録基準の追加(2019年度)
「文化財指定・登録基準の一部改正について」
・文化財指定1件(2020年度)
「伝鎌倉井戸(通称鎌倉古道推定地)」

その他 ・町田市生涯学習審議会からの依頼についての審議(2020年度)
『今後の町田市立自由民権資料館のあり方について』に関する
専門的知見からの助言について」

4 会議以外の活動

- ・ナラ枯れ(清水寺アカガシ群落)に関する相談(内野委員)
- ・相原・丸山家蔵(旧青木家シモノクラ)について(大野委員)
- ・妙福寺本堂屋根修繕について(大野委員)

- ・ 箭幹八幡宮隨身門の耐震診断について（大野委員）
- ・ 町田市立博物館運営委員会（民俗資料の保存と活用に関する方針）出席（八木橋委員）

●委員からの質疑・意見

○委員として緊急の相談に対応することは当然の責務として行っておりますが、図面作成や調査報告など相当なエネルギーが必要となるもの（少なくとも学生さん当に手伝ってもらわなければならない場合には）予算的裏付が欲しいと考えます。

→事務局 ご意見をもとに検討させていただきます。

(10) 第31期町田市文化財保護審議会委員の委嘱について

2021年5月7日に開催された教育委員会で下記の通り承認されました。

第31期も引き続きよろしくお願いいたします。

選出区分	氏名	所属等・専門分野	備考
学識経験者	あすわ はるみ 阿諏訪 青美	横浜市歴史博物館学芸員 (中世史)	再任 (2期目)
学識経験者	あべ あさえい 阿部 朝衛	帝京大学教授 (考古学)	再任 (6期目)
学識経験者	うちの ひでしげ 内野 秀重	長池公園自然館園長 (自然誌)	再任 (9期目)
学識経験者	おおの さとし 大野 敏	横浜国立大学教授 (建築史)	再任 (12期目)
学識経験者	こじま まさたか 小島 政孝	小島資料館館長 (郷土史)	再任 (17期目)
学識経験者	つるまき たかお 鶴巻 孝雄	元東京成徳大学教授 (日本近代史)	再任 (8期目)
学識経験者	はまだ ひろあき 浜田 弘明	桜美林大学教授 (博物館学・人文地理学)	再任 (3期目)
学識経験者	やぎはし のぶひろ 八木橋 伸浩	玉川大学教授 (民俗学・文化史)	再任 (6期目)

■その他

◆事務局より

(1) 次回の審議会（第31期第1回会議）について

次回の審議会は、7月12日（月）10時～11時半を予定しています。内容は、委嘱書の交付、会長・副会長の互選、第31期の審議会の取組予定について等です。

●全体を通して、委員からの質疑・意見

○2021年度から町田市史編纂の事業を進めて欲しい。

→事務局 市史編さんについては、スケジュールや体制などの検討を進めているところですが。